

採血を受けられる患者さまへのお願い

東大病院検査部採血室

検査部では採血を「安全に」「間違いなく」行うため、
以下のことを施行させていただいております。
ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

ご本人確認

「採血取り間違い防止」のため、
ご自身の姓名を名のっていただいております。



下記に該当する患者さまは
スタッフにお申し出ください

- ◎ 採血時にご気分の悪くなられる方
- ◎ 消毒薬や手袋(ラテックスなど)にアレルギーをお持ちの方
- ◎ 血液透析中の方
- ◎ 乳房切除手術を受けられた方
- ◎ その他採血に関して、ご希望、ご不安な点のある方



採血時の疑問など、
ご不明な点は、遠慮なくスタッフにお聞きください。

採血に伴う合併症

東大病院検査部採血室

「採血」は、基本的には安全な手技であり、合併症の頻度は極めて少なく、また軽症なものが多いとされております。

ごくまれに、以下のような健康被害を生じるとの報告があります。

止血困難・皮下血腫

穿刺後の不十分な止血操作などが主な原因です。

十分な圧迫止血をしていただきますようお願いいたします。

◎ 出血しやすい患者さまはお申し出ください。

アレルギー

採血時の消毒薬やスタッフの手袋（ラテックス）などでかゆみ、発疹を初めとするアレルギー症状が出現することがあります。

◎ アレルギーをお持ちの方は、お申し出ください。

神経損傷

採血後も手指へ拡がる痛み、しびれなどが持続します。

約1万～10万回の採血に1回の頻度で起こるとされています。

多くは1週間以内に、大部分は3ヶ月以内に改善します。

血管迷走神経反応

神経が興奮し、急激に血圧が下がるため、

めまい、気分不快感、意識消失などをひきおこします。

心理的に緊張、不安が強いと起こりやすいとされ、採血前に起こることもあります。

◎ 経験上、ご気分の悪くなられる方は、お申し出ください。



これらの合併症が起きた場合には最善の処置を行います。
(なお、その際の医療は通常の保険診療となります。)

合併症についてわからないことがございましたら、
主治医、また採血担当スタッフにお尋ねください。

血液検査に必要な手技 「採血について」

東大病院 病院長, 検査部長

採血により,

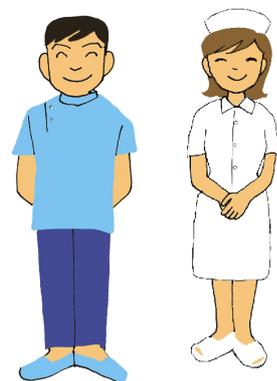
体の中を流れている血液を検査のために採取します。

この検査は, 病気の診断, 病状の把握 をするために
必須な医療行為です。

当病院での外来患者さまの採血は,
国家資格を有する「臨床検査技師」と「看護師」が担当しており,
十分な管理のもとに細心の注意を払って
実施させていただいております。

しかし, 時には,

採血針を刺しても採血できない場合,
1回の採血で必要な血液量が採取できない場合
があります。



その際には部位を変えて再度, 採血させていただきますことを
ご了承下さいますようお願い申し上げます。

また, まれに採血に伴う合併症が起きることがありますが,
これに関しては, 「採血に伴う合併症」をお読みください。

以上の点をご了解の上,

採血をお受けいただきますようお願い申し上げます。

また, 円滑な採血の施行には, 患者さまのご協力も
必要となりますことを何卒ご理解ください。



もし不明な点, 不安な点がございましたら
ご遠慮なくスタッフにお申し出ください。

